

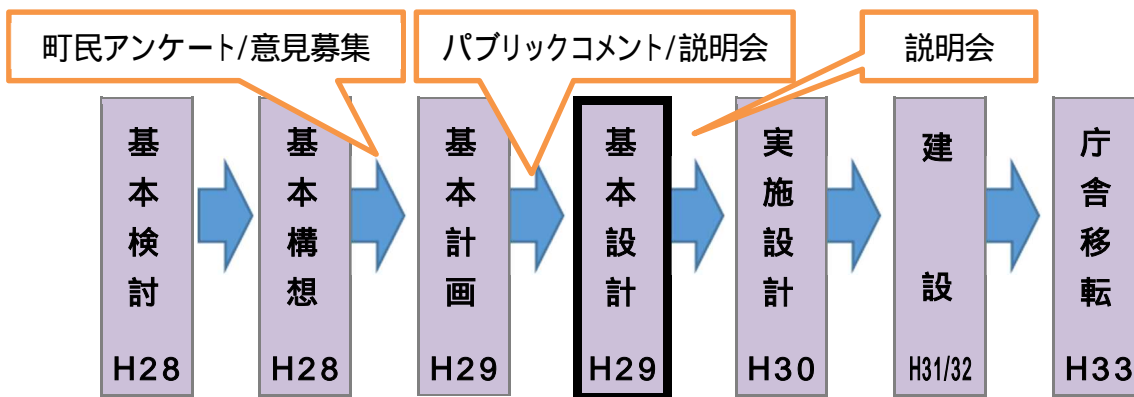
## 新庁舎基本設計案の町民説明会：4地区で開催しました

新庁舎建設の現在の検討内容を町民の皆様へご説明するため、新庁舎基本設計についての町民説明会を、4月23日から26日にかけて町内4地区で開催しました。説明会では、渡邊新庁舎整備室長からの説明の後、参加者からのご質問に室長や鎌田技術総括が回答を行いました。

参加者からは、「休日の利用はどのように考えているか」「駐車場は台数増加のみでなく、車の大型化への対応を」等のご質問やご意見をいただきました。（ご質問・ご意見等の内容は、裏面に記載。）



新庁舎の設計については、今回の説明会でいただいたご質問・ご意見や、これまでの町民アンケートやパブリックコメント等でいただいたご意見等を踏まえて更なる検討を進め、5月末に基本設計を、来年3月末に実施設計を策定する予定です。



### 今後の予定

|    |           |     |           |
|----|-----------|-----|-----------|
| 5月 | 基本設計完了    | 夏～  | 建築確認協議・申請 |
| 6月 | 実施設計開始    | 1月頃 | 造成工事準備    |
| 夏～ | 開発許可協議・申請 | 3月  | 実施設計完了    |

## 町民説明会での主な質問・意見

4月23日から26日までの町民説明会でいただいた、主なご質問・ご意見を紹介します。

| 質問・意見                                     | 回答  |
|---|---|
| <b>構造・災害対応について</b>                        |   |
| Q. 耐震構造は、免震構造より費用は少ないが、災害対応は十分か。          | A. 高層建築ではなく、強度も通常の1.5倍としており、災害対応に大差ない。伊達市や国見町も耐震。 |
| Q. 災害時の避難所機能は。                            | A. 避難所は各小学校体育館や、やすらぎ園が中心。新庁舎の1階は一晩の一時避難に利用できる。    |
| Q. 冬季の西風(半田おろし)への対応は。                     | A. 玄関に風除室を設けるほか、駐車場を庁舎の東側にも設けている。                 |
| Q. 4地区への防災スピーカー等設置は。                      | A. 現在、4地区8か所への防災スピーカー設置を進めている。                    |
| <b>諸機能について</b>                            |   |
| Q. 休日の町民ロビー等の利用範囲は。                       | A. 休日利用スペースを設け、町民ロビーやトイレ等を利用可能とする予定。              |
| Q. 現庁舎の駐車場は確定申告等が重なると混雑する。新庁舎の駐車場は多めに確保を。 | A. 来庁者用として約100台を計画している。やすらぎ園駐車場とも連携して利用できる。       |
| Q. 車両の大型化に対応し、1台あたり駐車スペースを広げたい。           | A. メインとなる駐車場については、駐車マスの幅を広めに計画している。               |
| Q. 庁舎予定地にある健康遊具や樹木はどうするか。                 | A. 記念樹は中学校と共に移転した。他は適切な移転地等があるか検討する。北側の桜の木は残したい。  |
| Q. 書庫はなるべく庁舎外にしては。                        | A. 書類削減とともに、事務効率を考えつつ、北側車庫2階の書庫・やすらぎ園車庫等も利用する。    |
| Q. 町長室への不審者侵入時の対応は。                       | A. 2方向に出入口を設けるので、避難可能。                            |
| Q. やすらぎ園への進入路が狭いが、拡幅はするか。                 | A. 庁舎のメインの進入路は広く確保したい。                            |
| <b>設備について</b>                             |   |
| Q. インフラ(電気等)を2重化してはどうか。                   | A. 水道については、2系統から給水できるようにしたい。その他は、実現性や費用面も含め検討する。  |
| Q. 雨水や地下水を利用しては。                          | A. 配管・水槽分離や、水道管内への鉄分付着等の維持管理面が難点。敷地内の井戸は有効利用したい。  |
| Q. 太陽光発電は売電等も行う予定か。                       | A. 補助金の制約等もあるため、新庁舎で利用する容量分のみとし、蓄電池も利用する計画。       |
| Q. 春や秋の冷暖房はどうするか。                         | A. 夏や冬以外の中間期は、窓を開けて自然の風を利用し、無駄な電気使用を抑制する。         |
| <b>デザイン等</b>                              |   |
| Q. 外装デザインが木質であれば、他町と似ているのでは。              | A. 維持管理費用が掛かるため、庁舎の外部には木材を利用しない。木材は庁舎内部に利用したい。    |
| Q. 開庁は平成33年の何月か。                          | A. 引越や人事異動も考慮し、平成33年5月頃を想定。                       |
| <b>意見</b>                                 |   |
| 人口減の中で行政の役割は更に大切。町民が使いやすく、若者が集まる庁舎にしてほしい。 |   |